

外食産業の持続可能な未来のトビラを拓く 業務用冷蔵庫の紹介

吉 田 大 助 （よしだ だいすけ）大和冷機工業株式会社 工場本部 技術管理部 部長

要約 大和冷機では他社との差別化、ユーザーの視点に立ったデザイン性・機能性に優れた製品開発を目指しています。今回、使用スペースが通常の業務用冷蔵庫の約 1/2 に削減可能なスライド扉業務冷蔵庫、及び左右どちらからも開閉アプローチ可能で動線がスムーズな両開き業務冷蔵庫を紹介します。

1. 当社の概要

大和冷機では昭和 33 年の創業以来長きにわたり培ってきた技術で、食の安心・安全と美味しさの提供による食文化の向上と、SDGs を考慮した製品の研究開発（省エネ・低 GWP・省資源）を企業の使命として、常に新たなテーマにチャレンジしています。

具体的には業務用冷蔵庫、冷凍庫やショーケースといった機器による高精度の冷却技術と温度コントロール技術で鮮度管理をサポートしてきました。

また、フードサービス産業の課題に対しては、スチームコンベクションオープンやプラストチャー/ショックフリーザー等の省力化機器で、新たな調理方法や人手不足解消の提案を行っています。

HACCP に沿った衛生管理が義務付けられた今、冷蔵庫本体に遠隔で温度を管理するシステム（IoT）を導入。除菌水を手軽に生成できる電解次亜水生成装置と合わせ、HACCP 導入支援を行っています。

そして現在、新型コロナウイルスへの対応により、フードサービス業界全体が新しい事業スタイルへの転換を求められる中、課題解決につながる最適な機器の提案を行っております。

2. スライド扉業務用冷蔵庫

当社では 2013 年 4 月よりスライド扉業務用冷蔵庫を販売しています。

スライド扉業務冷蔵庫とは省スペースの実現に対して、

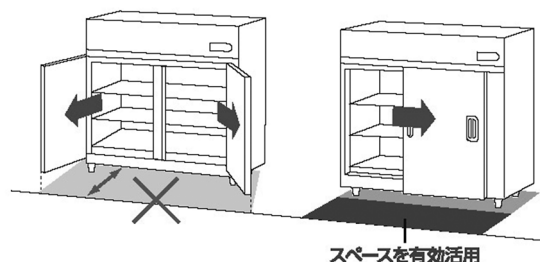
単に本体の設置面積を小さくするだけでなく、使用状況を考慮して開発された業務用冷蔵庫です。

扉の開閉を含めた現場の使い勝手を反映し、スイング式でなくスライド式の扉を採用しています。

持ち出し動作とスライド動作を二枚構成の両方の扉に持たせることは複雑な機構になりますが、ストレスの無い動作を高い完成度で実現しました。



スライド扉が作業スペースの有効活用を実現
使用スペースが従来の 約 1/2 に。



スペースを有効活用

従来機種と比較し使用スペースが 約 1/2 に。バックヤードなどの狭いスペースでの扉開閉が出来るので、今まであきらめていた場所への設置が可能。